

議題（1）

第7次行政改革大綱アクションプランの令和3年度上半期取組結果について

第7次行政改革大綱アクションプラン（以下、アクションプランと言います。）に掲載した取組項目については、半期毎に進捗状況の確認を行い、進捗管理を行っております。

今回、令和3年度上半期の取組結果を取りまとめたことから報告いたします。

1 令和3年度上半期進捗状況について

取組項目56項目の令和3年度上半期進捗状況を取りまとめた概要については、下記のとおりです。

進捗状況は「目標達成（見込）」「計画通り」「計画変更」の3区分としています。

区分	項目数	区分説明
1 目標達成（見込）	3	予定より計画を前倒しで達成できる見込みのもの、【資料1】で説明しています。
2 計画通り	48	予定通りに進んでいるもの（一部取組内容を変更しました。）
3 計画変更	5	社会情勢または実施に支障があり、計画完了時期や進め方を見直しするもの、【資料2】で説明しています。

2 達成した取組項目について

以下の3項目を達成項目とします。なお、達成後はアクションプランの取組は終了しますが、通常業務として引き続き担当課において取り組みます。

(1) ネーミングライツ制度の導入

ネーミングライツ制度は、市と事業者が契約し、市が管理する施設の名称の命名権を事業者に与えるものです。当初の計画より前倒しで袖ヶ浦市ネーミングライツ制度の導入と袖ヶ浦市ネーミングライツ事業導入ガイドラインを令和3年6月に策定し、ホームページで公開しています。そのため、本取組は達成とします。

項目名		(1) 新たな財源の確保							
目指すべき改革の効果		ふるさと納税制度では、更なる財源確保策として、本市の政策やまちづくりに共感してくれる寄附者の増加や、地域経済の活性化に繋がるような返礼品の見直し等を行う。また、新たな取組みについても積極的に推進し、更なる歳入の確保により財政運営の安定化を図る。							
		住民サービスの向上	向上	コストの縮減	向上	職場環境の改善	－		
No.	取組項目	担当部署	関係部署	年度計画					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
①	ふるさと納税の推進	財政課		継続実施	→				
②	クラウドファンディングの活用	財政課		完了					
③	ネーミングライツ制度の導入	財政課		検討	完了				
④	広告収入等による財源の確保	秘書広報課	財政課	継続実施	→				

(2) 定員管理の適正化

アクションプランに示したスケジュールに沿って、令和2年度に定員管理方針を策定し、令和3年度より方針を踏まえた定員管理を開始したことから、本取組は達成とします。

項目名		(2) 定員管理の適正化							
目指すべき改革の効果		各課等の業務量を踏まえ、職種別の定員数、正規職員と非正規職員の適切な人員数を検討して、職員数の適正化及び人件費の抑制を実現する。							
		住民サービスの向上	－	コストの縮減	向上	職場環境の改善	－		
No.	取組項目	担当部署	関係部署	年度計画					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
①	定員管理の適正化	職員課		検討、方針策定	完了	→			

(3) 働き方を意識した時間外勤務の抑制

令和3年1月から、毎月第2水曜日は「完全定時退庁日」とし、定時退庁を促すこととなりました。令和3年度は特に「完全定時退庁日」の時間外において、定期的に見回りや声掛けを行い、指導を行いました。アクションプランで予定していた取組を開始したことから、本取組は達成とします。

項目名		(2) 生産性の向上の取組み							
目指すべき改革の効果		長時間労働に対する意識改革、長時間勤務職場等における生産性向上の取組みを実施することにより、職員の業務負担が軽減され、ワークライフバランスの維持につながる。							
		住民サービスの向上	－	コストの縮減	向上	職場環境の改善	向上		
No.	取組項目	担当部署	関係部署	年度計画					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
①	働き方を意識した時間外勤務の抑制	職員課		継続実施	完了				
②	業務マニュアルの整備	行政管理課		検討、方針決定	準備	実施	→		
③	長時間勤務職場等における業務改革・改善の推進	職員課		調査		統合			